



きずな



～一致団結～

わたしたちにできること

先週の月曜日の1時間目に、福祉学習について各学級の代表が発表を行いました。学級の代表を決めるために一度クラス内で発表を行い、投票で代表を決めました。発表の様子を見て、資料作成からがんばりましたね。おつかれさまでした。

さて、今回の発表においてどんなことを意識しましたか？聞く人のことを考えた発表はできましたか？個人で調べてつくった資料をそのまま読むだけの発表になりましたか？たくさんの情報を伝えること以上に、たくさんの情報のポイントを選んで発表することが一番伝わりやすかったのではないのでしょうか？発表活動は、今後もあります。次の機会では、今回学んだことを活用した発表になることを願います。

今回の学年発表の最優秀賞と優秀賞の班を発表します。

最優秀賞：2組5班

優秀賞：2組4班

です。おめでとうございます。

月曜日みんなの様子を見て、感心したことが二つあります。

一つ目は、みんなのために動けるようになった人が増えたことです。私は会場準備のため大体育館で準備をしていました。最初に来たクラスの生徒が、みんなが座るための椅子の準備を始めました。自分のクラスだけかなと様子を見ていましたが、他のクラスの椅子も準備をしていました。特定の人がんばるのではなく、みんなで準備ができたことはすばらしかったです。おかげで予定していた開始時刻に間に合いました。積極的に準備をしてくれた人ありがとうございました。

二つ目は、各班の発表前になると自分たちで静かにできるようになったことです。以前までは、学級委員から注意をされることがありましたが、今は注意されることなく自分たちで判断できるようになったことは成長です。中には、そんなこと当たり前と思っている人もいます。



どの班も共通してあった内容は、「今のわたしたちにできること」です。これからの社会を生きていく君たちにとって今回の取組は有意義になったはずですが、発表活動の話ではありません。「福祉社会」について自分たちができることを考えたことが大事です。今の時点で「これ！」と決めるわけではありません。以前の講演会の感想の中に「時代の変化と共に障害者を支える人や物も変わるのだと分かった。色々な開発が進み便利になってきているけれど、それから人が離れていくのはよくないと思う。これを他人事とは思わず、同じ世界で起こっていることとして考えていきたい。」とありました。この通りだと思っています。差別するのではなく、一緒に生活していくためにお互いがどんなことを考えて生活していくかを意識しましょう。このことは、福祉に限った話ではありません。みんなの生活も基本的な考え方は、同じです。一緒に生活するためには、お互いを知ることから始まります。知った気になっていませんか？知った気でいるから相手への配慮がなくなっていますか？信頼関係を、一度築いたからといって油断していませんか？「気持ちを伝える」ことを慎重に考え、お互いの気持ちが良い状態を心がけましょう。これは、生徒同士の話だけではなく、先生たちにも考えてほしいことです。

TGG のグループ(内容)が決まりました。

昨日の6校時に、大体育館に集まり24日のTGGのグループ分けを行いました。

TGGでの学習内容は、

- ・「おもてなし文化を世界に紹介をしよう」
- ・「ダンスパフォーマンスをしよう」
- ・「サバイバル技術を身に付けよう」

の3つになります。内容は異なりますが共通していることは、「すべて英語を使って表現をする」ことです。みんなができる初歩的なことは、「あいさつ」です。緊張した表情で「おはようございます。」や「こんにちは。」だと会話が進みません。笑顔であいさつしましょう。

過去の話になりますが、道で外国の方から道を聞かれました。英語で完璧に答えることは、当然できませんでした。自分の知っている英単語を使って、一生懸命伝えました。文法なんかめちゃくちゃでした。学校で習った主語・述語なんか関係ありません。「困っている人を助ける」の想い一つで、必死に伝えたら最後に「OK! OK! Thank you」と言われました。正しい文法を知っていればもっと簡単に伝えることができたのかな？という感情以上に「やりきった!!」の感情がありました。来週は、とにかく会話を楽しみましょう。

